

志賀原子力発電所  
大雨によるモニタリングポスト No. 1 の故障について

2018年8月31日10時29分、能登地方の大雨（発電所内降水量最大値：76mm/h）により、モニタリングポスト（以下「MP」という。）No. 1の局舎が浸水（床上1m程度）し装置が故障したため、測定が停止しました。

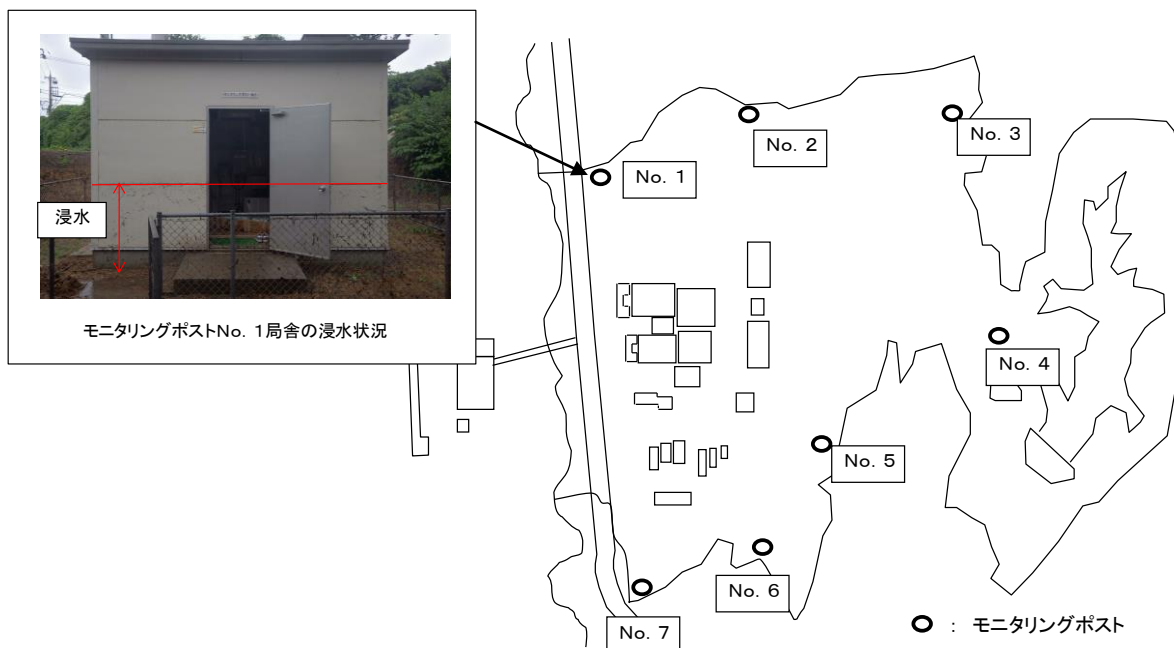
その他のMP No. 2～7の局舎については浸水はなく、大雨の影響はありません。

測定が停止したMP No. 1については、モニタリングカーによる代替測定を実施するとともに復旧作業を実施中です。（8月31日連絡済み）

MP No. 1の故障原因は、大雨により、MP No. 1局舎周辺の排水路に落ち葉や枝が詰まり、排水不良となったことから、MP No. 1局舎周辺に雨水が滞留し、MP No. 1局舎の浸水に至ったためです。

当面の対策として、当日以降の降雨時のパトロールの際には、これまで優先的に実施していた主要建屋（原子炉建屋等）周辺の排水路の排水確認に加え、MP局舎周辺の排水路において適切に排水が行われていることも優先的に確認しています。

また、恒久対策として、MP No. 1局舎周辺の雨水を確実に排水できる対策を検討していきます。



モニタリングポスト配置図